

第5回 市民と議員の懇談会

報 告 書

奥州市議会市政調査会

目 次

	ページ
1 実施要領	1～2
2 開催状況	3
3 各班報告書	
第1班報告書	4
第2班報告書	5
第3班報告書	6
第4班報告書	7
第5班報告書	8
4 自由懇談「分野別意見、要望等」	
議員定数・議員報酬に係る意見、要望等	9～10
土地開発公社に係る意見、要望等	11～12
総務常任委員会所管に係る意見、要望等	13～17
教育厚生常任委員会所管に係る意見、要望等	18～19
産業経済常任委員会所管に係る意見、要望等	20
建設環境常任委員会所管に係る意見、要望等	21～24
議会に対する意見、要望等、その他	25～26
5 まとめ	27

平成 25 年度市民と議員の懇談会実施要領

1 趣旨

市民との多様な意見交換の場、議会が持つ情報の発信の場として、市民懇談会を開催し、議会の立場から市民への市政に関する情報提供に努めるとともに、議会に対する意見・提言・批判等市民の声を直接かつ広く聴取することにより、議会の監視機能及び政策提言機能を高める。

2 名称「市民と議員の懇談会」

3 実施主体

奥州市議会市政調査会

4 開催月日、会場

月 日	開会時間	班	会 場
6月4日 (火)	19:00 ～ 20:30	1	羽田地区センター 研修室
		2	真城地区センター 会議室
		3	岩谷堂地区センター 多目的ホール
		4	田原地区センター 研修室
		5	古城地区センター 日本間
6月5日 (水)	19:00 ～ 20:30	1	玉里地区センター 会議室
		2	小山地区センター 会議室
		3	前沢地区センター 音楽室
		4	水沢地区センター 視聴覚室
		5	衣川地区センター 視聴覚室

5 内容

(1) 報告事項

① 3月議会の報告

- ・ 議員定数の削減等について

(2) 懇談内容

① 議会に対する意見要望、地域における諸課題等

6 班編成

(1) 6人～7人単位で5班編成とする。

1班 7人、2班 7人、3班 6人、4班 6人、5班 6人

(2) 班編成は、議会改革検討委員会、所属常任委員会、出身区等を考慮し編成することとし、会長、副会長に一任する。

(3) 各班に代表者（班長）をおき、準備及び当日の役割分担を行う。なお、質疑に対する答弁は担当常任委員会議員が優先し、回答が困難な場合はほかの議員が答弁、説明をする。

○役割分担

- ・班長 1名（挨拶）
- ・司会進行 1名
- ・説明係 1～2名（議会報告、議員定数・報酬）
- ・記録係 1～2名（まとめ、記録は全員が行う）
- ・受付係 1名

7 周知方法

(1) 市広報、ホームページに掲載、奥州FMで放送する。

(2) 地区センターを通じて、地区振興会等各種団体に呼びかけてもらう。

(3) 各議員は参加の声かけを行う。

8 記録

市民懇談会の内容は、要点記録とし、録音する。

9 その他

(1) 懇談会終了後、各班ごとの質疑、要望事項等懇談内容を報告書にまとめ、会長に報告する。

(2) 市政調査会において、班ごとの報告、懇談会の成果・効果等について反省総括する。

(3) 質問・要望等で重要なものは、各常任委員会ごとに調査、市側との協議等に取り組むものとする。

(4) 懇談会の内容、対応・処理等の結果については市議会だよりに掲載する。

(5) この要領に定めるもののほか、市民懇談会の運営に必要な事項は会長が別に定める。

第5回 市民と議員の懇談会開催状況

(1) 開催日及び参加者数

月 日	会 場	参加者数		
		男	女	計
6月4日 (火)	羽田地区センター	14	1	15
	真城地区センター	12	0	12
	岩谷堂地区センター	9	0	9
	田原地区センター	12	0	12
	古城地区センター	30	2	32
6月5日 (水)	玉里地区センター	22	3	25
	小山地区センター	9	1	10
	前沢地区センター	8	0	8
	水沢地区センター	10	0	10
	衣川地区センター	10	0	10
第5回 (H25.6月) 10会場参加者数 (合計)		136	7	143
第1回 (H22.10月) 10会場参加者数		116	18	134
第2回 (H23.7月) 10会場参加者数		167	18	185
第3回 (H24.2月) 10会場参加者数		188	18	206
第4回 (H24.7月) 30会場参加者数		399	55	454

(2) 班名簿

	1班	2班	3班	4班	5班
開催日 会 場	6月4日 羽田地区センター 6月5日 玉里地区センター	6月4日 真城地区センター 6月5日 小山地区センター	6月4日 岩谷堂地区センター 6月5日 前沢地区センター	6月4日 田原地区センター 6月5日 衣川地区センター	6月4日 古城地区センター 6月5日 衣川地区センター
班 長	小野 幸宣	小野寺 重	佐藤 克夫	及川 梅男	菊池 嘉穂
班 員	関 笙子	阿部加代子	及川 善男	中西 秀俊	中澤 俊明
	千葉 悟郎	今野 裕文	高橋 政一	小野寺隆夫	三ノ宮 治
	佐藤 修孝	菅原 由和	飯坂 一也	佐藤 邦夫	藤田 慶則
	菊地 孝男	高橋 瑞男	佐藤 郁夫	千田美津子	遠藤 敏
	加藤 清	新田 久治	三宅 正克	内田 和良	千葉 正文
	菅原 明	菊池堅太郎			
事務局	高橋 和美	高橋 キエ	佐々木文恵	菊池 敏彦	菅原 幸一

第5回「市民と議員の懇談会」第2班報告書

1 開催月日	平成 25 年 6 月 4 日 (火) 午後 7 時 00 分 から午後 8 時 30 分	平成 25 年 6 月 5 日 (水) 午後 7 時 00 分 から午後 8 時 30 分
2 会場	真城地区センター	小山地区センター
3 参加者数	12 名 (内訳 男性 12 名 女性 0 名 議員・職員 名)	10 名 (内訳 男性 9 名 女性 1 名 議員・職員 1 名)
4 出席議員	班長 小野寺 重 議員 進行係 新田 久治 議員 説明係 阿部加代子 議員、今野 裕文 議員 記録係 菅原 由和 議員、菊池堅太郎 議員 受付係 高橋 瑞男 議員	
5 欠席議員 今野 裕文 議員 高橋 瑞男 議員 議員 議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

1. 今後は、JA、PTA、商工会議所等、対象をしばった懇談会も検討してもいいのではないかと。

(特に、女性や青年層の参加者が少ないので、各種団体の女性部会や青年部会等を対象にするなど)

2. 出された意見や要望も、なるべく回答ができるように、班内であらかじめ担当を決めるなどの工夫が必要ではないかと。

3. 今回「議員は勉強不足」との指摘を受けたが、この指摘も踏まえて、福島除染プラザへの視察を実施するに至ったことは、市民の声を真摯に受け止めた対応であり、懇談の成果であると考えらる。

第5回「市民と議員の懇談会」第3班報告書

1 開催月日	平成 25 年 6 月 4 日 (火) 午後 7 時 0 0 分 から午後 8 時 4 0 分	平成 25 年 6 月 5 日 (水) 午後 7 時 0 0 分 から午後 9 時 0 0 分
2 会場	岩谷堂地区センター	前沢地区センター
3 参加者数	9 名 (内訳 男性 9 名 女性 名 議員・職員 名)	8 名 (内訳 男性 8 名 女性 名 議員・職員 1 名)
4 出席議員	班長 佐藤 克夫 議員 進行係 三宅 正克 議員 説明係 佐藤 郁夫 議員 議員 記録係 及川 善男 議員 高橋 政一 議員 受付係 飯坂 一也 議員 議員	
5 欠席議員 議員 議員 議員 議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

.....
 ・参加者が少ないのは、曜日・時間帯の設定のみではないように
 感じる。開催地区の区長等に要請し、当該地区の役員に出席要請
 をした方がよい。

第5回「市民と議員の懇談会」第 5 班報告書

1 開催月日	平成 25 年 6 月 4 日 (火) 午後 7 時 00 分 から午後 8 時 30 分	平成 25 年 6 月 5 日 (水) 午後 7 時 00 分 から午後 8 時 30 分
2 会場	古城地区センター	衣川地区センター
3 参加者数	32 名 (内訳 男性 30 名 女性 2 名 議員・職員 名)	10 名 (内訳 男性 10 名 女性 名 議員・職員 4 名)
4 出席議員	班長 菊池 嘉穂 議員 進行係 中沢 俊明 議員 説明係 遠藤 敏 議員 議員 記録係 三ノ宮 治 議員 藤田 慶則 議員 受付係 千葉 正文 議員 議員	
5 欠席議員 議員 議員 議員 議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

- 1) 多くの市民の方々の参加を促がす方策がほしい。特に市民と議員の懇談会の趣旨である、市民の皆さんに議会を身近に感じてもらい、議会の活性化と市民の声を市政に反映させるためにも、もっと工夫が必要だ。
- 2) 多くの方々から発言をいただき、進めかたをしていかなければならない。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

「議員定数・議員報酬」に係る意見、要望等

班	会場	質問、意見、提言等	回答（説明）	処理（調査・回答等）
1	羽田地区センター	定数削減はやむ得ないが、報酬を上げてほしいと思われ るが、その意見はなかったのか。	議会改革検討委員会を中心に議論され、報酬を上げる べきとの意見はあったが少数意見であり、結果として現 状維持とした。	
	玉里地区セ ンター	江刺市議会で24人から22人に定数削減に賛成した。削減 は組織力のある人が有利である。（回答は不要）		
		議員報酬は上げるべきだ。	報酬も上げるべきだという議論もあった。市財政が ひっ迫しており、職員も含めて給与削減しているとき に、議員報酬を上げていいのかなど、議会改革検討委員 会や全員協議会などでも議論され、採決の結果、現状維 持と決まった。	
		議員報酬を上げるべきだ。一般質問の制限、夜間議会の 開催、地区センター長と議員の兼務などもあるのではな いか。	そういう意見があるということを知った。	
3	岩谷堂地区 センター	議員定数の論議の時に、議員報酬の論議はなかったの か。若い人が家庭を持った時に生活できる報酬にすべきで はないか。	意見はその通りである。増額との意見も出たが、市職 員が賃金カットしている中で、増額については慎重に判 断すべきとの考え方もあったことから、議員報酬につ いては議会で判断するのではなく、報酬審議会に委ねたほ うがいいということになった。	
4	田原地区セ ンター	議員定数削減に対する考え方を聞きたい。	合併して、5つの区の事情が異なること。広大な面積を 有し、市民の声を届ける議会でなければならないが、定 数を削減するとこれらが弱体化すると考えられる。 いつまでも議員定数にこだわってはいけませんだと考 え、削減の結論を出した。 そもそも議員は何をするのかからスタートすべきであ る。一地域のことではなく、全体のことを考えるのが議 員の役割。	

5	古城地区センター	議員定数が28人に削減されると、議員が出ていない地域も出てくるので、議員は自分の地域だけで無く奥州市全体を考えるべきである。	これからは常任委員会を活発化させ、議員のいないところにも常任委員会で調査活動をしようと考えている。	
	衣川地区センター	議員を減らす必要はないのではないか。議員定数は変えられないのか？ 職員の給料は絶対下げるべきではない。職員のやる気を無くすような、特にも若い人の給料を下げるべきではない。	議会改革検討委員会でも話し合っているし、全議員でも話し合いをし、また、会派別に話し合いもした。昨年7月には、市民の方々から意見を聞くために市民と議員の懇談会も開いた。現状維持の声も多かったが、類似団体をみても、また、行財政改革にも取り組んでおり、職員の給料も4.7%下がっており、国の方針もそうであるので、議員自ら身を切るべきではないかということで、28人となった。	
		奥州市は広い面積であり、議員の削減は人口だけで都市にならって行ったのではないか、衣川は震災において、支所・公民館・体育館の3つの建物が壊れているが、衣川における震災交付金はどのようになっているのか、議員は知っておられるか？ 黒滝温泉のバイオマスは本気でやるのか？ 議員は週に1回・2回は地区センターに来て、地域の実情を聞くようにすれば、議員定数が少なくなっても対応できるのではないか、議員の発言には力があると思う。	黒滝温泉のバイオマスは特殊な技術であり、それ以上地域への広がりはないのではないかと思う。 議員は合併後1期目は各区を回り実情を把握してまわった。	

土地開発公社に関する意見、要望等

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
2	真城地区センター	土地開発公社の問題で、道義的責任として単に議員報酬を削減しただけでは、芝居にすぎないのではないか。 痛みを分かち合ったことはわかるが、もう少し議員間で勉強会をすべきではなかったのか。	責任の取り方には、別の方法もあるのではないかと色々議論はあった。	
		土地開発公社の財産は、市へ移管手続きが行われたと思うが、最終的な引渡書の中に、土地開発公社から上姉体振興会に対して50万円ほどの寄付行為がされている。もらった方も何なのか分からない。そのような事実を議員は知っているか。	今初めて聞いた。調査してみる。	市担当課より事情を聴きとり、質問者に回答済み
3	小山地区センター	土地開発公社の問題は、結果して30億円の債権放棄をして一件落着としているが、今後、市が管理をしていくにしても同じ問題を繰り返すのではないかと危惧する。 議会として同じ過ちを繰り返さないために、どうチェック機能を働かせていくのか。	それぞれの土地毎に売れるもの売れないもの、市が活用するもの等を分類してもらっており、こうしたものでチェックをしていく。しかし、どうしても処分できない土地があるのも現実のようだ。	
		土地の処分をするにしても、売り手側、買い手側のミスマッチがでてくるのではないかと思うが、この辺の見通しはどうか。	・民間のアイデアも活用して売却をしていかなければならないと考える。 ・取り付け道路もなく売れないような土地は取り付け道路を付けたたり、宅地分譲地などは様々な特典を付けたたり工夫をしていかなければならない。	
		土地開発公社は、役所でやるよりも利点があって公社にしたと思うが、それがうまくいかずまた役所に戻して本当にうまくいくのか。 起死回生の施策があって、しっかりとした見通しをもっているのであればいいが、単に責任の所在を替えただけのようで、本当にうまくいくのか懸念する。 よって、議会ではしっかりとチェック機能を果たして欲しい。	意見として伺う。	
3	岩谷堂地区センター	議会として土地開発公社が所有していた土地の売買をチェックできるのか。専門的知識が必要ではないか。	これまで議会でチェック機能が果たされてこなかった。議会として体制をとっていくべきと考えている。	

3	前沢地区センター	土地開発公社の状況について、行政をチェックする議会は何をしていたのか。市長は法的に遡及できないという。議会として毎年度の指標をチェックしてほしい。	その通り甘かった。今後は議会としてしっかりチェックしていく。	
		土地開発公社問題で市長、副市長、議員報酬の50%カットではダメ。土地の処分では首をかけてやるという構えがないといけない。	土地の処分状況については、広報おうしゅうに最低年2回は掲載し、市民に公表するよう要請している。	
		旧土地開発公社所有地を市の方針は早く売るとのことだが、目的があって取得した土地であれば、売らないで貸したほうがいいのかではないか。	活用する土地、処分する土地と分けている。貸したほうがよい場合もあると思う。I L Cで活用できる場合もあるのではないか。	
4	田原地区センター	開発公社の問題だが、市民に30億円もの負担をさせたのはどうかと思う。市長・副市長の報酬カットは一回だけのもの。歴代の市長の責任はどうか。道義的責任があるというだけでは不満だ。	そもそも開発公社の問題は、バブルが始まり、国の指導で始まったもの。特定の人が悪いとは責められないもの。早期に解散すべきだったと考える。 開発公社解散に伴う議案には反対した。解散するのはやむを得ないが、このまま尻拭いでいいのか疑問。このような問題で議員が責任を取るの、全国に例がない。	
	水沢地区センター	開発公社の清算問題で、以前の方々の責任は問わないのか？	開発公社としての役割は十分に果たしてきたものとする。以前の市長には責任を問えないと小沢市長が判断したもの。	
	開発公社問題だが夕張とは違うのか。良く思い切ってやったものだ。	夕張は炭坑が閉鎖したなども大きな要因である。国の責任でもある。		
		開発公社の残存財産について伺う。寄附された土地はどういう理由か分かるか。	土地の活用処分計画を見ても見当たらないので、調査して報告したい。	市担当課より聞き取りをし、質問者に回答した。

総務常任委員会に係る意見、要望等

班	会場	質問、意見、提言等	回答（説明）	処理（調査・回答等）
1	羽田地区センター	市政運営については、もっと若い方々の意見を聴く場面を作り反映すべきである。	そのように思う。当局に伝えていく。	
	玉里地区センター	税のコンビニ納入は良いが中山間地にコンビニが無い。かつて市長に地区センターにコンビニの設置を提案したら2,000万円必要との回答であったが、議会としても考えていただきたい。	若者の不定着の一因になっていることを感じる。要検討である。	
		行政はかくあるべきというものを議会も一体となって持つべきだ。 公務員から民間委託への仕組みが必要である。	民間活用は全体的に大事。19年間職員の勤務体制について提言してきたが、総論賛成、各論反対という部分があり、議員個々の考えが異なる。	
		行革は市民第一に考えるべきだ。		
		社会福祉協議会等への民間委託事業の補助金の15%カットは厳しい。 総合支所で用足しが出来ない。	市でも職員が少なく、なかなか高齢者対策なども手が及ばない、社会福祉協議会に頼っているのが現状。	
		共助するにも人が不足だ。	要望として回答はしない。	
		不採算のりんご園や耕作放棄地を耕す会社を立ち上げた。7時40分出勤で頑張っている。給料は市職員の3分の1程度である。こんなに格差があっているのか。 基本的には職員給与は下げるべきではない。地域独自の採用で公務を進めることも選択肢としてある。 県の人事院勧告が基本でしょ。	職員の退職金は2,200万円だ。職員組合を擁護する議員もいる。色々な考えがある。基本的に民間準拠である。	
		I L C設置の希みはあるか。	九州（背振）の活断層が新聞報道されて以来、東北が色濃くなってきたように思う。	
2	真城地区センター	市役所内に新しく掲示板ができた。その上に「明るい笑顔で元気に挨拶・・・」などと書かれているが、職員は全然お辞儀もしない。	全部ではないが、そのような職員もいる。議会でも何度か取り上げられているが大事なこと。 意見は伝えたい。	
		合併して区制となったが、将来的に区はなくなるのか。	合併協議の中で、区制を敷くことが謳ってある。今後については分からないが、なくすことは考えにくい。	

2	真城地区センター	今後、奥州市は金ヶ崎町と合併すべきか、平泉町とすべきか。個人的には平泉町と合併し、「奥州平泉市」となれば全国的に知れ渡るのではないか。議員はどう考えるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・議会として、金ヶ崎町議会との交流会や平泉町・一関市議会との交流会を実施しながら情報交換をしている。 ・奥州市も合併したが、JAや商工会など一緒になっていないところもある。そういったことも一つ一つ解決をしながら、今後声かけをしていくことも必要と考える。 	
	小山地区センター	県南広域振興局と江刺総合支所庁舎の交換については、費用的な部分で折り合いがつかない等、県の都合で長引いていると聞くと現状はどうなっているのか。実現の可能性はどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・県と市でこれまで協議をしてきているが、県としては特にメリットがないとのことで、県職員の通勤費や改装費などの経費が掛かる分は、すべて奥州市で負担して欲しいと言っているようだ。まだ具体的にはなっていない。 ・議会に請願も出されている。委員会では採択されたが本会議では継続となり、特別委員会を設置して協議していくこととしている。 	
		消防団の定数削減の議案審議があったが、定数や補充について議員はどう考えるか。 今回、実数が少なくなったからそれに定数を合わせたということではないのか。	定数に合わせて災害共済を掛けなければならず、今回の定数削減は、財政上のことから実数に合わせて定数を削減したもの。 議会としても、こういうことで定数削減をしてもいいのかとの議論もあった。本来の定数削減を是としたものではない。	
		消防団のなり手の問題がある中で、議員は消防団の協議会に呼ばないで欲しいという話があるが、そのような姿勢でいいのか。 議会は地域の消防団に対して理解し応援することが必要ではないのか。	議会では、これまでも出初め式や演習、競技会等には極力参加しようということと呼びかけてきている。 議員が「呼ばないでくれ」といった事実は承知していない。	
		納税に対する全納報奨金制度が変わり、1世帯3,000円を限度として交付される制度となった。年々滞納・繰り越しが増えてきているようだが、このような制度ではなく、納税額に対して一定率を掛けるような制度にできないか。 納税組合を活用し、報奨金を交付した方が得ではないか。旧胆沢町時代は100%完納してきた実績もあり、奥州市としても検討できないか。	個人情報保護法があり、誰がいくら納めたのか等を納税組合でも掌握できず、回覧等で納税奨励をすることしかできない。 現実的に納税組合としてそのような活動は出来ず、今の法律上は難しい。	

2	小山地区センター	<p>予算は旧市町村に平等に配分されているということだが、実際は、借金があるところに配分しているのではないか。旧胆沢町は借金もなく合併したので、何も進んでいないように感じる。</p> <p>もう少し平等にしているという情報をわかりやすく目に見える形で広報して欲しい。</p>	意見として伺う。	
3	岩谷堂地区センター	<p>請願38号が継続審議になった理由はなぜか。</p>	趣旨については理解するが、奥州市のみの問題ではなく、管内市町村との協議と住民協議が必要であることから継続となった。	
		<p>合併特例債の残高が増えているのではないか。平成24年度に一気に増えているのはなぜか。</p>	合併時に将来どれぐらい使うかを設定して金額を決めてきた。残高は増えているが、平成28年度からは減らしていくよう設定をしている。平成24年度に大きく増加したのは土地開発公社の整理のために第三セクター債を借り入れたためである。	
		<p>総合計画など夢のある計画を市民や職員から募るべきではないか。</p>	合併した自治体の7割は財政難になっている。我々も夢がある計画、事業が必要であると考えている。	
		<p>I L Cは自然環境を壊すことが予想される。地下水の断水、工事による公害など対応できるようにしてほしい。失われていくものに対する説明もしっかりしてほしい。</p>	その通りだと考える。7月の結果を見ながら対応していきたい。	
		<p>協働のまちづくりは行政の仕事を市民にやらせるものと考えているが、人づくりとはどういうことか。</p> <p>奥州市の財政指数はどれくらいか。夕張のようにはならないか。</p>	<p>協働のまちづくりは、様々な企画や事業などを主体的に進めていく人材が必要であり、人づくりアカデミー受講をすすめている。</p> <p>奥州市の公債比率は17.6くらい。全国的にみれば高いが、財政計画をたてて健全財政の確保に努めている。</p>	
前沢地区センター	<p>岩手競馬、土地開発公社、水沢病院の三大負債は解決に向かっていているというが、住民サービスの低下、住民負担増、28年度以降の交付金の減額を控えて、行政が住民から離れていくようで、合併した効果がみられない。各区には文化や地域性がある。区長は4年で廃止になったが、各自治区の育成は平成28年度以降も存続するよう要望する。</p>	要望意見として伺う。		

3	前沢地区センター	合併後自治区は10年、地域協議会も10年となっているが、これを延長してほしい。各地域協議会は、合併後4年間はうまくいったが、以降はうまくいっていないので、その原因を検証してほしい。前沢は活発にやっているとらえている。	意見として伺う。	
4	田原地区センター	奥州市政は、夕張のようにならないか心配。	夕張の問題も国の責任が大きいと考える。	
5	古城地区センター	地域協議会は10年という設置期間ですがこれを継続してもらいたい。	要望として承ります。	
		総合支所存続27年以降どうなるのか、30の地区センターの強化では人員などから不安である、総合支所の機能の強化が街づくりには必要である。 総合支所に権限を持たせることが必要、ぜひ議論してください。	総合支所を今のまま残すというのは、難しいのではないかと思います。ただ機能を地区センターに移すというのではなく、核となる場所が必要だと思います。今の状況ですとこの後、議論になってゆくと思います。 ともすると本庁に機能を集約する流れがありますが、今旧市町村に総合支所がある訳ですから、その機能に権限を与えて、人員も含めて強化してゆくべきだと思います。	
		奥州市はかなり広い、一体感を醸成するためにはそれなりの手順と時間が必要、地域住民の声を集約してゆく地域協議会の役割は重要だと思う。	それぞれの地区に地域協議会があるわけですが、地域協議会が本来の役割を果たしているのか、見えない部分があるのですが。	
		合併協議で作られた地域協議会が機能していないし重要視されていない。以前はほとんど事が協議会に諮問されていた。	本来そのようではあってはならない、今日のご意見を反映させてゆく。	
	衣川地区センター	財政が厳しいのであれば、新しい建物はいらぬ。遊休資産は処分すればよろしいのではないか。	遊休資産についてはひとつひとつ精査をし、具体的に検討している。	
	合併して7年もたつのに、新市建設計画10年間変えられないのはおかしいのではないか。	合併する前、各区で考えてきた10年間でやる事業であるので変えることはできない。		

5	衣川地区センター	衣川は3つの施設が被災しているのに、解体をしていない。議員は衣川の実情を知らないのではないか。	議員は全ての地区のことは分かっていないかもしれないが、ある程度のことは分かっているものと思う (地域の方より) 災害交付金、解体費用を含めて1億8千万円はある。地域協議会で話し合っている。 各区の情勢を把握していないのではないかという意見があったことを議員につなげていきたいし、各常任委員会を活性化させようという動きはある。	
		競馬について、インターネット馬券で所得税法違反の競馬裁判、岩手競馬において、今売り上げが好調なのはインターネット馬券であり命綱である。今後、裁判によっては、インターネット馬券が売れなくなるのではないかと心配だ。公営ギャンブルの所得税法改正に関して議会も注目してほしい。	競馬特別委員会並びに競馬組合等でおつなぎしたい。	

教育厚生常任委員会に係る意見、要望等

班	会場	質問、意見、提言等	回答（説明）	処理（調査・回答等）
1	羽田地区センター	羽田幼稚園の預かり保育は現在8時30分から17時までであるが、今年から夕方1時間延長になっており、朝も1時間早く預かってほしい。		
		青少年の健全育成について、少子化によりボーイスカウトが成り立たなくなっている。地域活動、奉仕活動の面においても大切と考えるが、どのように考えるか。	青少年の健全育成の面において、大切と思われるので、地区センターの主たる事業として取り組むことも考えてみてはどうか。	
		チャレンジデーの取り組みについて、盛り上がりには欠けるのではないかと。連敗をしている要因は何か。健康づくりが原点である。農村部の参加が多いが町場が少ないと思われる。対策が必要。	チャレンジデーの趣旨が理解されていないのでは、もう少しいろいろな場面でのPRが必要。	
	玉里地区センター	老耳、白石沢等の学区の再編はどうか。	前沢小学校の統一は10年かかった。	
2	真城地区センター	真城小学校の給食センターの裏に変電室があり、そのフェンスが倒れかかっており、教育委員会に直すように話していたが、未だに直していない。	調査する。	※翌日に確認し、質問者へ回答済み（緊急性なし。教育委員会へ依頼済、学校側も認識有）
		真城小学校東側に電気関係の設備があるが、その周囲にフェンスがない。子どもが感電する恐れがあるのでフェンスを回した方が良くと教育委員会に話していたが、未だにされていない。	調査する。	※翌日に確認し、質問者へ回答済み（設備は温水器。教育委員会へ依頼済）
3	岩谷堂地区センター	奥州市立病院・診療所改革プランの内容と平成26年度からの実施とすると遅いのではないかと。	事務局プランが出ている状況であり、まだ内容が固まってはいない。実施時期は平成27年度からとなるのではないかと。	
		陳情34号を是非通して欲しい。本庁に集中させないで分散させて欲しい。	常任委員会としてさらに調査を行いたいとのことから継続となった。9月議会で再度審査することになる。	
	前沢地区センター	胆沢病院には産婦人科がなく、脳外科では手術ができない。水沢病院に産婦人科を設置してほしい。病院診療所改革プランでは前沢診療所を無床化にするとのことだが、衣川も含めてそれでは困る。水沢病院改革プランの中に病院統合などの厳しい内容になると聞いている。	改革プランについては、事務局案の中にその内容が入っていると聞いている。素案段階であるので、方針案ができた段階で実施される説明会やヒアリングの時には是非意見を出してほしい。	

3	前沢地区センター	学齢期に達しているがどこにいるかわからないケースはあるのかないのか。	ないと思うが正確なところはわからない。	教育委員会に確認し、質問者に回答済。
4	田原地区センター	地域医療(診療所問題)について、どう考えているか。太田代診療所に行った事はあるか。	この間、診療所継続についての請願が2回提出されており、常任委員会としても実態をつぶさに見て、採択にした経緯がある。	
		江刺区にパークゴルフ場がない。	江刺区はグランドゴルフをやる人が多い。 みんなの要望であれば、請願・陳情を出す等の方法も考えてみてはどうか。	
		地域医療を担うのは市立病院の役割だと思うが、江刺病院に観てもらわなければ福祉施設は成り立たない。議会で水沢病院の建て替えの話が出たが。	今、病院、診療所等の改革プランを立てている。この地域に住みたくない地域になってはいけない。みんなの声を聞いて地域医療を考えていくことが大切だ。	
	水沢地区センター	乳幼児医療費の問題だが、実際に現物給付にしている市もあり、当市も実施すべきではないか。	今の段階では、多額の国のペナルティがあり、県内市町村においては実施に踏み切れないのが実態だ。これまで以上にみんなで運動していきたい。	
		江刺区内診療所の存続と充実を求める陳情について	①広瀬の診療所は休診している。②地元では、診療所は入らないとの話③民間病院で医師派遣可能との申し出もある。④水沢病院は医師派遣できない現状である。これらを総合的に判断して、採択すべきと決めたもの。	
5	古城地区センター	地域医療について、診療所の診療体制が大事である、胆沢病院に産婦人科が無いのはおかしいと思う。そういう施設を充実すべき。	現在、地域医療改革プランで検討中である、水沢病院でも産科医師の確保が難しい状況が続いている。	
		前沢区の小学校について統合後の7つの小学校はどうなるのか、荒れるであろう校庭などの管理はどうするのか。	今の段階ではまだ決まっていない。いろいろ話が出ているがまだです、7つの地区で案や要望を上げて欲しい。	
	衣川地区センター	医療問題、前沢の医療ゾーン、あれだけ開業医が多い地域なのに、市がなにもしていない。もっと大事にして欲しい。産科医・小児科医を呼ぶ際には奥州市で補助を考えてほしい。	奥州市で産科医が足りないのは事実であり、市立・開業医、関係なく議員間でも話し合っていきたい。	
		開業する人にとっては魅力的な場所なのに、市が何もしていない。もっとアピールするべきではないか、議員の皆さんでどうして開業医の方々が集まっているのか、研修することも大事ではないか？	調査することも大事だと思う。	

産業経済常任委員会に係る意見、要望等

班	会場	質問、意見、提言等	回答（説明）	処理（調査・回答等）
1	羽田地区センター	羽田地域の地場産業 鋳物をさらに発展させて地域振興を図ってほしい。	産業経済常任委員会での後の方策を含めて、調査する方向で進めて参ります。	
	玉里地区センター	基盤整備をしても、農村集落が崩壊する。集落の戸数が30から28になった。	中山間地の農業振興を優先第一で取り組むべきだ。農業法人は補助がなければ継続できない。	
		農業政策を明確化するように議員活動をして欲しい。高齢化が進み、70～80代が農業をしている。結いの精神はあるが、限界がある。	6次産業化に10万円の補助でやれるか。地域づくりの補助金を活用できないか。	
2	小山地区センター	農地水環境保全向上対策に今年度からメニューが一つ増えた。環境保全支援事業として、堆肥の投入をすることで補助金が得られるということで歓迎している。 その生産した米は、環境に優しいなど付加価値が高まるが、もう少し高く買ってもらうことで、この制度も活きると思うが、中々高く売れない。売る方にももっと力を入れて欲しい。	意見として伺う。	
5	衣川地区センター	総合支所へ緊急的なため池の渇水対策を要望してきた。衣川・平泉の分水嶺にあたる高台にある地域でため池が渇水のため、田に除草剤を使えない農家もある。緊急的な渇水対策を行ってほしい。議員の方々もご協力をお願いしたい。	市につなげていきたい。	市に報告済

建設環境常任委員会に係る意見、要望等

班	会場	質問、意見、提言等	回答（説明）	処理（調査・回答等）
1	羽田地区センター	初めて参加した。広報の大事さは理解した。黒田助線の拡幅を地域として要望しているが、いつ実現するのか。ランク付の判断基準はどのようになっているのか。	ランク付けについてはいろいろ事情があると思う。どういう進捗、判断でDランクになっているのかは当局に確認し報告する。	
		子どもたちのためにも歩道の拡幅をしてほしい。通学路でもあり、安全のため早急に。	現状は理解できるので当局に伝える。	
		国道397号線で歩道も構わず除雪した雪を置いているが、除雪対策を講じてほしい。あり方も含めて。	現状は理解できるので当局に対応が可能なのかを含めて検討していく。	
2	真城地区センター	放射能汚染土の仮置き場について議員はどう考えているのか。 これまでの議会での議論を聞いていると議員は勉強不足のように聞こえる。市当局から状況を聞き出すということだけではなく、議員はもう少し勉強をした上で議論をして欲しい。 (私は、福島の広報室等に出向いてきており、議員よりは知識があるつもりで議論を聞いていた。)	(市の方針とこれまでの対応状況について説明。) ・議会としても、これまで放射能に関する勉強会を開催したり、議員個々に研修会に参加したりしているが、勉強不足はご指摘のとおりかもしれない。 ・仮置き場を作らなければならないことも理解するが、地域の方々の想いも良くわかる。 ・仮置き場の設置に関しては、震災特別委員会の中でも議論を行っている。	
		仮置き場の設置に関しては、今、市民に投げかけられているが、議員は市民の立場になって解決をした方がいいと思っているのか、行政の立場（方針）で解決した方がいいと思っているのか。 地域の安心・安全のため仮置き場は必要なものであり、行政もお願いしている。早期解決のため、行政が進める方針を議員も一丸となって進めるのが得策ではないか。	・議員はあくまで市民の立場である。 ・地域への丁寧な説明をしながら、不安なところを一つ一つ解決し、お互いの信頼関係をつくって行くことが必要だ。	
		真城小学校の旧体育館北側に、シートをかぶせているところがあるが、あれは汚染土か。ビニールテープで囲いはしてある。	公共施設の汚染土は、その敷地内に保管することとしているが、シートにくるんで土中に埋めており、ただシートをかぶせているのであれば、汚染土とは考えにくい。 後日確認する。	※翌日に確認し、質問者へ回答済み (以前、焼却炉があった場所。仮置きしていた灰にシートをかぶせていたもの。既に業者にて撤去済み。)

2	真城地区センター	<p>新設されるスマートインターチェンジは、高速道路にただ接続するだけではなく、そこに行くまでの関連道路があると思うが、真城地区に関わる関連道路は具体的になっているのか。</p>	<p>スマートインターチェンジに接続する道路だけで、それに関連する道路の計画までは公表されていない。</p>	
		<p>これまで真城として、折居駅周辺の開発とともに、インターチェンジ新設を要望してきた経緯がある中で、今回スマートインターチェンジが折居近くに出来ることを期待していたが叶わなかった。 農業高校付近に出来るようだが、接続道路だけではなく、折居館方面にも延長した関連道路整備をして欲しい。</p>	<p>スマートインターチェンジが出来れば、折居方面にも車の流れは出来ると思う。 まだ具体的な計画はない。</p>	
		<p>真城大深沢地内に地震で盛り上がったマンホールがあり、市役所に連絡をしていたが、未だに手が付けられていない。</p>	<p>調査する。</p>	<p>※翌日に確認し、質問者へ回答済み (土木課へ依頼済)</p>
		<p>大きい道路だけではなく、林の中の道路等も見たい。舗装になっていなかったり、でこぼこだったりしている。</p>	<p>道路整備については多くの要望がでており、議会としてもやるべきだと意見はしているが、すべてをすぐ出来る状況ではない。しかし、震災に関わって多くの予算が付けられ、傷んだところの事業等は進められている。</p>	
		<p>真城が丘団地が出来て40年になるが、側溝や側溝の蓋の破損、道路のひび割れなどがでてきており、市に要望してきたが予算がないとのこと。 震災に関わっての予算が付けられているとのことなので、ぜひ整備をお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要望が出されたことは伝えたい。 ・進め方として、地区センターや振興会が中心となり、地域における課題をまとめ、優先順位をつけて要望をしていくことも必要ではないか。 	
		<p>市において景観条例の説明会をやっている。例えば、4階以上の建物の色を規制したりするようだが、なぜ今そのような規制をつくるのか。もっと自由にさせてもいいのではないかな。</p>	<p>背景は、平泉の世界遺産登録に関わっての条例で、平泉周辺の地域を限定し、市内全域に適用するものではない。</p>	
	小山地区センター	<p>自宅付近の道路拡張について、市や関係機関、各議員などに合併以前から要望してきたが、未だ実現していない。どこに話しをすればいいのか。</p>	<p>合併時の新市建設計画に載っていれば実施される。それを確認することも必要。 計画になれば、振興会と相談をして地域要望の上位に載せてもらうことが必要ではないか。 (振興会長) 現在、今年度の要望提出を各行政区に依頼をしている。今後これを取りまとめて、優先順位を付けて要望をしていきたい。</p>	

3	前沢地区センター	汚染土の仮置場の問題は何人かの反対でダメになった。振興会単位、町内会単位にするとさらにできない。議員も中に入って側面から当局を援護すべきではないか。	仮置場については私(及川善男議員)も役員会に入ってやっている。福島市の除染プラザを見学してきたが、行政が方向性を出してやるべき。3年後にどこに持っていかかがはっきりしていれば、住民の方々にも理解してもらえるのではないか。	
		除染を国に対して業者にやらせるとなっていないか。東電の社員に除染をやらせるよう議員が声を上げるべき。	汚染土の処理は、福島については国が実施し、宮城、岩手では市町村が実施することとなっている。	
		汚染土の処理は行政が前面に出て汗を流すべき。市長、市の幹部、議員も、それが仮置場設置を早めることに、理解されることになるのでは。	汗を流す努力を議員としてもやっていきたい。	
		旧前沢町で道路改良が進んでいないところが多くある。本庁は水沢に行ったが、南の道路をつくることで街が発展していく。前沢出身の議員から声がきかれない。早期実現をしてほしい。	前沢出身議員団として意見を出していきたい。	
4	水沢地区センター	陳情第35号スマートインターチェンジ建設の凍結を求める陳情について、不採択の意味は何か。	建設を進めるということ。(議会だよりP21)で説明	
		仮置場についてはどう考えるか。	知り合いが自分の田んぼに仮置場を作って良いと言っているのだが、周辺の賛同が得られない。 市長などと一緒に仮置き場を設置出来る様になりたい。 江刺区では、全部の汚染土を持って来て良いと言う人もいる。安全なのであれば、仮置き場を作るべきだ。 安全であればという考えもある。地域で議論して設置すべきと考える。 家庭ごみの焼却灰から高濃度の放射能が検出された。反対する人たちも居るが、きちんと管理すれば安全だということを知らないためである。	
		福島を除染プラザを見てきた。側溝の汚染問題に、まず全議員で対応すべきだ。	奥州市では、どうしても仮置場が必要だ。議員も市と一緒にやってコーディネートする働きが必要だと考える。	
		草焼きについてどう考えるか。	アクになったものが濃縮されると聞いている。 炎の強いものは飛散するが、煙の多いものは飛散しないと聞いている。	
4	水沢地区センター	道路の作り方がまずい。手直ししている。	県道と市道の交差だと思うが、危険だということで手直ししたもの。	

		下水工事において、業者によっては再舗装が必要なところもある。川口町・不断町は舗装が終わったが、波打っている。	完成検査も行われており、波打つようなままでの完成はないと思うが、そのようなご意見があったと担当部に伝える。	
5	古城地区センター	<p>国道4号線の折居交差点での渋滞を解消して欲しい、毎日500m. から1km. の渋滞、冬季は2km. にもなる。前沢バイパスと水沢東バイパスをつなげればよい、現計画では渋滞に拍車がかかるし工事費も越線橋は莫大なものになるし工事期間も長くなる。繋げるのが合理的だと思う。</p> <p>費用対効果の検証がない。誰が考えても思うことである。</p> <p>関連してですが、バイパスを広域農道で結ぶ事は出来ないか、農水省の管轄で高規格の農道として作ること出来ないか。</p>	<p>以前から地元住民として運動した経緯がありますが、現在の流れとしては、従来どおり大深沢へつなぐということになっている。</p> <p>計画変更するということは新規扱いということになると国交省から説明されている。仮に新規ということになると、今までの計画はストップということとされています。従来国体までに開通の予定がだいぶスローダウンしており予算規模も毎年1億とか、このままだとかなり遅れることが予想されています。</p> <p>折居交差点の渋滞解消については、右折レーンの設置という情報があるが、予算等の関係でまだ確定していないがそういう動きはあります。</p> <p>現状はどうなっているのか、将来的にどうなるのか持ち帰って市当局と検討してみたい。</p>	
		前沢苑横の道路について平成24年までの工事であったが、100m残してストップしているが、予算がないからという事には、憤りを感じる。	計画した道路で予算がないから残すということはないはずで、止まったままで終わることもないはずです。 (以後聞き取れず)	

議会に対する意見、要望等・その他

班	会場	質問、意見、提言等	回答（説明）	処理(調査・回答等)
1	真城地区センター	こういう時こそ、政務活動費を使って研修をしてきて、解決に向け努力をすべきではないか。	意見として伺う。	
3	岩谷堂地区センター	市民と語る会の時間は2時間は欲しい。インターネット中継の画像が悪い。	時間については意見として承り、検討します。 インターネット中継の画像については、確認し対処します。	
	前沢地区センター	議会中継を各総合支所で見せてほしい。議会に対する意見や要望を吸い上げてほしい。	インターネット中継をしてる。	
		議員は一般質問を必ずすべきであるという意見と、必ずということではなく質が大事であるという意見があった。会派の代表質問をやればよいとの意見があった。	意見として伺う。	
4	田原地区センター	「市民と議員の懇談会」がこれまで4回開催されているが、市政に反映できたのは何かあるか。	その都度懇談のテーマを設けながら開催してきた。子どもの権利条例制定に関わる懇談では、さまざまなご意見を頂戴し、条例に活かすことができたと考える。	
	水沢地区センター	県南広域振興局の誘致についての請願の採択が、本会議では継続審査とあるが、この違いは何か聞きたい。	常任委員会では採択としたが、県から市に課題が提示されており、これを解決できないと進まない現状から、なお継続して審査が必要との判断から、継続審査と決定したもの。今後は特別委員会で審査していくことになる。	
		議会開催の仕方を変えてみるなどは考えているか。	当市議会では、議会改革検討委員会が様々な改革について議論をしている最中である。 北海道の福島町では、傍聴者も拍手して良いとか、写真を撮って良いなどある。今後検討も。	

5	古城地区センター	<p>平成24年取得の予定(スポーツランド隣接)の整備 1億900万の予算もあるのですが、特例債を使えば3億の事業が出来るという提案をしている。何年も前から検討するということがばかりで予算化されていない。</p> <p>最終処分場を作った時の土、15万立米ぐらいの土がストックしてある、利用できないか。</p>	<p>市長は確認しているはずですので、確認していく。</p> <p>当初から計画があった前沢区民のためのものを自然体のものを作るべき。</p>	
	衣川地区センター	<p>議会だよりはすべてみている。水沢病院・岩手競馬・土地開発公社、3つの問題ほぼ解消している。</p> <p>奥州市の議員だから地元の話ばかりでなく、全体的なことを考えてほしい。</p> <p>新しい衣川総合支所は本当はいらない。もっと大事なことに予算を使ってほしい。</p>	<p>議員の活動のあり方。例えば、一般質問ひとつをとっても、旧市町村の感覚が抜けないのは事実であるが、将来的には奥州市の議員として全体的なことを考えることは、基本中の基本であり大事なことである。総合支所はいらないということですが、機能を生かし地域のためになってほしいと思う。</p>	

まとめ

(1)各班ごとの意見、要望数

班	会 場	意見、要望件数
第1班	羽田地区センター	9
	玉里地区センター	13
第2班	真城地区センター	17
	小山地区センター	10
第3班	岩谷堂地区センター	10
	前沢地区センター	13
第4班	田原地区センター	7
	水沢地区センター	13
第5班	古城地区センター	10
	衣川地区センター	10
合 計		112

(2)分野別の主な意見、要望等

テーマ、各分野別	件 数
「議員定数」「議員報酬」にかかる意見、要望等	9
土地開発公社に関する意見、要望等	13
総務常任委員会にかかる意見、要望等	32
教育厚生常任委員会にかかる意見、要望等	19
産業経済常任委員会にかかる意見、要望等	5
建設環境常任委員会にかかる意見、要望等	25
議会に対する意見、要望等・その他	9
計	112